

第62回瀬戸市文芸発表会

特選作品

【中村 雅樹 先生選】

花の冷え雲に移りて能登の海

岐阜県大垣市

大西 誠一

賑やかに来て遠足の遠ざかる

瀬戸市中水野町

加藤 進

はんざきがかわいと書く子の日記

瀬戸市五位塚町

玉井 美智子

【田口 風子 先生選】

セルを着てヴィバルディ聴く雨の午後

瀬戸市東横山町

清水 忍

播州に黒田官兵衛桔梗濃し

愛知県知多郡東浦町

田中 百榮

先導は女宮司や大茅の輪

瀬戸市田端町

水野 時子

【武藤 紀子 先生選】

殉職の感謝状のみ夏座敷

瀬戸市はぎの台

安藤 善通

ぼくよりも遠くへ行ったかたつむり

緑ヶ丘女学院三年

川東 英利香

祖も父も我も室の子地藏盆

瀬戸市品野町

柴田 昭彦

【佐藤 美恵子 先生選】

ラムネ飲むびんの底まで天に向け

名古屋中学校二年

岡部 恭怜

陶土荒れの手を労りて去年今年

瀬戸市品野町

掛樋 嗣征

山車去つて後に眠たき子が背中に

瀬戸市品野町

紫田 昭彦

【松代 天鬼 先生選】

ハードルも絆で越えた半世紀

残照が男の背に刺さってる

長生し価値の違いへ歩み寄る

瀬戸市品野町

長谷川 久子

瀬戸市神川町

丸山 進

愛知県尾張旭市

喜乃

【浅野 滋子 先生選】

原奏の記事は楷書で願います

朝市の野菜に付いてきた訛り

正位置は東と決めて生きてきた

鳥取県米子市

門脇 かずお

神奈川県藤沢市

福島 敏朗

瀬戸市北山町

吉田 武彦

短歌

【伊吹 純 先生選】

公園にシニア野球の掛け声が高くあがりて寒気つらぬく

瀬戸市田端町

青山 京子

幾度も洗へど袖の染み残る作業ズボンを梅雨晴れに干す

瀬戸市品野町

掛樋 嗣征

病み上がり少し丸まる友の背にそつと手を当て歩幅を合わす

瀬戸市陶原町

加藤 和子

【大塚 寅彦 先生選】

舌の根が痒くなつたら夏至となり哀しみだけが通り過ぎます

瀬戸市みずの坂

石田 穂實

夕近き車中に女性化粧して羽化したるごと降りてゆきたり

埼玉県久喜市

岡田 孝道

祈るがに眼瞑りて掌を胸にマラソン選手号砲を待つ

愛知県春日井市

菅原 すみ子

詩

【若山 紀子 先生選】

もうすぐ春ネ

瀬戸市品野町 紫田 昭彦

ネエおばあちゃん

二月はどうして

いつもの月より短かいの

それはネ

暦を作った人が

一日でも早く暖かい

春が一ぱいの

三月になるといいなあと

思ったからよ

たぶん、友だち

福井県坂井市

半田 信和

薊と熊蜂

ぎぎぎぎぎの花に

まるっこい体がもぐっている

ぎぎぎぎぎでやな〜いものと

まるくて律儀なもの

ここに根を張るものと

ここを飛び立つもの

いつしよに揺れている